

光ミュージアム所蔵

美を競う肉筆浮世絵の世界

展覧会名： 光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界
会 期： 2019年9月7日[土]～10月27日[日]
会 場： 佐野美術館
開館時間： 午前10時～午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
休 館 日： 木曜日
入 館 料： 一般・大学生1,000円 小・中・高校生500円 *毎週土曜日は小中学生無料
主 催： 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送
後 援： 静岡県教育委員会
助 成： 三島信用金庫
協 賛： 伊豆箱根鉄道株式会社
特別協力： 光ミュージアム
監 修： 鈴木浩平(美術史家)、故・永田生慈(美術史家・北斎研究家)
企画協力： アートシステム

※会期中一部展示替えがあります

展覧会の趣旨

佐野美術館は、2019年9月7日[土]から10月27日[日]まで、今日までベールに包まれていた光ミュージアム(岐阜県高山市)の肉筆浮世絵の一大コレクションを、一挙公開する展覧会を開催します。

浮世絵といえば、多色摺木版画のイメージが大きいですが、肉筆浮世絵は絵師自らが筆を取り描いた一点物。直筆ならではの繊細優美な筆致を楽しむことができます。

この度が初めての大規模公開となる肉筆浮世絵コレクションは、質量ともに国内有数を誇り、人気絵師の傑作や稀有な美人画が揃います。約420点もの一大コレクションより厳選した111点を展観する、またとない機会にぜひご鑑賞ください。

展覧会のみどころ

本展は、江戸中期から明治までの時代を代表する約80人の絵師たちによる作品を、第1章「肉筆浮世絵の展開」、第2章「百花繚乱・多彩な作品群」、第3章「上方と地方で描かれた肉筆浮世絵の展開」の3章構成で紹介いたします。

葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳、溪斎英泉ら人気絵師をはじめ、独特の魅力を持ち異彩を放つ京都や大坂の絵師、また肉筆画でのみ知られる絵師など、肉筆浮世絵の豊かな世界を堪能することができます。とくに葛飾北斎の三幅対《日 龍 月》や、《豫讓》などは必見です。

肉筆浮世絵は美人画が多く描かれます。着物の文様や髪かざり、化粧、履き物など当時の流行のスタイルやおしゃれな着こなしにもご注目ください。

展覧会の主なイベント

- ◆講演会「肉筆浮世絵にみる美人画の見方」 10月5日(土)14:00～15:30
- ◆スライドレクチャー&特別鑑賞講座「展覧会のみどころ&北斎肉筆画〈田植図〉の鑑賞」
9月28日(土) 14:00～15:00 9月29日(日) 10:00～11:00
- ◆担当学芸員のギャラリートーク 9月14日(土)、10月12日(土) 14:00～

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合には、1～7の画像と、展覧会チラシ掲載の画像をデータで提供できます。電話、FAXまたはメールでご連絡ください。

※画像掲載をする場合、作品クレジットの明記をお願いします。



1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.

1. 葛飾北斎《日 龍 月》寛政12～文化5年(1800～08)
2. 葛飾北斎《豫讓》弘化3年(1846)
3. 歌川国英《秋色女》文政年間(1818～30)頃
4. 勝川春英《金太郎》享和～文化年間(1801～18)頃
5. 藤麿《旅の女》享和～文化年間(1801～18)前期頃
6. 溪斎英泉《立ち美人》文政年間(1818～30)
7. 祇園井持《子守》文化12年(1815)

作品はすべて光ミュージアム蔵

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢・西脇

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 Tel. 055-975-7278 Fax. 055-973-1790

URL www.sanobi.or.jp E-mail koho@sanobi.or.jp